

インターハイ活躍誓う

鹿島学園高・清真学園高 鹿嶋市長を表敬

全国高校総体（インターハイ）に県代表として出場する鹿島学園高（常井安文校長）と清真学園高（柴山修二校長）の生徒らが10日、鹿嶋市平井の市役所に田口伸一市長を表敬訪問し「感謝の気持ちを忘れずに戦う」と活躍を誓った。



今年のインターハイは22日～8月21日、主に近畿地方で開催。鹿島学園高は男子サッカー、女子ソフトボール、レスリング、陸上競技に出場する。全国高校総体に出場する、鹿島学園高と清真学園高の生徒ら
鹿嶋市役所

る。清真学園高は少林寺拳法、卓球、弓道が大会に臨む。

この日は両校から各部を代表する生徒ら計15人が市役所を訪問。常井、柴山両校長のあいさつに続いて意気込みを語った。

鹿島学園高3年、男子サッカー部主将の内海心太郎さん(18)は「今年は優勝旗を持ち帰れるようにチーム一丸で頑張る」と決意。

清真学園高2年、弓道部の石田礼奈さん(16)は「多くの支えがあって全国大会出場権を得られた。感謝の気持ちを忘れず、正々堂々と戦って優勝を勝ち取りたい」と話した。

田口市長は「勇気を与えられる街として私たちも頑張る。皆さまも自分の努力を信じ、鹿嶋と茨城の名を全国にとどろかせて」とエールを送った。

(相馬康児)